

DirectLink DLC 対応版  
日本語 5250 エミュレータ  
Ver5.04-01  
リリースメモ

Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

|                           |   |
|---------------------------|---|
| [Ver.5.04-01 での変更内容]..... | 1 |
|---------------------------|---|

[Ver.5.04-01 での変更内容]

| No | 概要   | VerUp<br>区分 | 変更区分                      |
|----|--|-------------|---------------------------|
| 1  | 印刷コマンドファイル(PCF)の登録内容にしたがって、プリンタ制御コードをプリンタへ出力する機能に対応、IBM プリンタ定義ファイル(PDF)を利用しての印刷にも対応          | 機能追加        | プリンタ<br>セッション/<br>ローカルコピー |
| 2  | 印刷コマンドファイル(Print Command File:PCF)の作成・変更、および設定方法を示した、『印刷コマンドファイル・リファレンスマニュアル』をマスタ CD-ROM に追加 | 機能追加        | プリンタ<br>セッション/<br>ローカルコピー |
| 3  | 転送要求ファイルをダブルクリックすることにより、データ転送パネル、またはデータ転送コマンドラインプログラムを起動できる機能（関連付け）を追加                       | 機能追加        | データ転送                     |
| 4  | 関連付け機能で定義した転送要求ファイルからデータ転送パネルを起動する場合、データ転送パネルの起動と同時にデータ転送開始、およびデータ転送完了時にデータ転送パネルを終了する機能を追加   | 機能追加        | データ転送                     |
| 5  | データ転送パネルでデータ送受信の完了時、転送完了メッセージを表示する／しないを指定する機能を追加   | 機能追加        | データ転送                     |

| No | 概要  | VerUp<br>区分 | 変更区分   |
|----|---|-------------|--------|
| 6  | <p>Set Session Parameters(9)のセッション・オプションに"RETRY（規定値）/NORETRY"機能を追加</p> <p>セッション・オプションの設定により、Send Key(3)を呼び出した場合下記の動作を行う</p> <p>RETRY：キーストロークが送信されるか、4分のタイムアウトが発生するまでキーストロークの再送を行う</p> <p>NORETRY：キーボードがブロックまたは使用されていることが確認されたら、関数は即座に戻る</p> | 機能追加        | API 機能 |

| No | 概要  | VerUp<br>区分 | 変更区分            |
|----|---|-------------|-----------------|
| 7  | 入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合、文字の挿入ができない現象を修正   | バグ修正        | ディスプレイセ<br>ッション |
| 8  | データ転送パネルを起動後、データ転送に関係のない Excel ファイルをダブルクリックやファイルの右メニューから開いた状態で、Excel ファイルのデータ送受信が完了した場合、開いていたデータ転送に関係のない Excel ファイルが閉じてしまう現象を修正                                       | バグ修正        | データ転送           |
| 9  | データ転送（送信）で、送信ファイル名の指定で拡張子を省略している場合、送信ファイルの指定フォルダに同じファイル名で拡張子が異なる BIFF8 形式(.xls)と Office Open XML 形式(.xlsx)のファイルが存在すると、必ず Office Open XML 形式(.xlsx)のファイルが送信されてしまう現象を修正 | バグ修正        | データ転送           |
| 10 | データ転送（送信）で、[オブジェクトの作成]設定に「ファイルおよびメンバーを作成」、または「新しいメンバーを作成」を指定した場合、送信データに送信先フィールド長を超える長さのデータが含まれているとデータ転送に失敗する現象を修正   | バグ修正        | データ転送           |
| 11 | データ転送（送信）で、存在しない形式記述ファイル(FDF ファイル)を指定して実行しても、「形式記述ファイル（FDF ファイル）が見つかりません。」のエラーメッセージが表示されない現象を修正   | バグ修正        | データ転送           |

| No | 概要   | VerUp<br>区分 | 変更区分 |
|----|--|-------------|------|
| 12 | 「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正<br>「nLPIの印刷方式」-「行数基準」の有効範囲の上限<br>誤：128行<br>正：255行 | 説明修正        | ヘルプ  |

|                |   |
|----------------|---|
| No.7           | 入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合、文字の挿入ができない現象を修正 |
| 発生条件           | 入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合に、文字を挿入する。       |
| 障害内容           | 入力フィールドに文字が挿入できない。                          |
| アップデート未実施時の回避策 | 入力フィールドの末尾にある半角空白文字を削除し文字を挿入する。             |

|                |  |
|----------------|--|
| No.8           | データ転送パネルを起動後、データ転送に関係のない Excel ファイルをダブルクリックやファイルの右メニューから開いた状態で、Excel ファイルのデータ送受信が完了した場合、開いていたデータ転送に関係のない Excel ファイルが閉じてしまう現象を修正  |
| 発生条件           | 以下の条件をすべて満たしている場合。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・データ転送パネルが起動されている状態で、データ転送に関係ない Excel ファイルを開く。<br/>       (エクスプローラで「ファイルのダブルクリック」、または「ファイルを右クリックしメニューから開くを選択」)</li> <li>・データ転送(送受信)のファイルタイプに Excel ファイル(BIFF8 形式(.xls)、または Office Open XML 形式(.xlsx))を指定</li> <li>・データ転送で Excel 形式のデータを送信、または受信する。</li> </ul> |
| 障害内容           | データ転送に関係のない Excel ファイルが閉じてしまう。   |
| アップデート未実施時の回避策 | データ転送パネルを起動した状態で、「ファイルのダブルクリック」や、「ファイルを右クリックしメニューから開くを選択」で Excel ファイルを開かない。  |



|                        |  |
|------------------------|--|
| No.9                   | データ転送（送信）で、送信ファイル名の指定で拡張子を省略している場合、送信ファイルの指定フォルダに同じファイル名で拡張子が異なる BIFF8 形式(.xls)と Office Open XML 形式(.xlsx)のファイルが存在すると、必ず Office Open XML 形式(.xlsx)のファイルが送信されてしまう現象を修正  |
| 発生条件                   | 以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"><li>・データ転送の送信を実行</li><li>・送信ファイルの指定フォルダに同じファイル名で拡張子のみが異なる BIFF8 形式(.xls)と Office Open XML 形式(.xlsx)の Excel ファイルが存在</li><li>・データ転送の送信ファイル名の指定で拡張子を省略</li><li>・送信に使用する形式記述ファイル(.fdf)のファイルタイプに BIFF8 形式(.xls)を指定</li></ul> |
| 障害内容                   | BIFF8 形式の Excel ファイル(.xls)ではなく、必ず Office Open XML 形式(.xlsx)の Excel ファイルのデータが送信されてしまう。  |
| アップデート<br>未実施時の<br>回避策 | データ転送（送信）の送信ファイル名に拡張子(.xls/.xlsx)まで指定する。   |

|                |   |
|----------------|---|
| No.10          | データ転送（送信）で、[オブジェクトの作成]設定に「ファイルおよびメンバーを作成」、または「新しいメンバーを作成」を指定した場合、送信データに送信先フィールド長を超える長さのデータが含まれているとデータ転送に失敗する現象を修正   |
| 発生条件           | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データ転送の送信を実行</li> <li>・ 送信データに送信先フィールド長を超えるデータが存在</li> <li>・ CSV ファイル/ SYLK ファイル/ Excel ファイル(BIFF8 形式(.xls)と Office Open XML 形式(.xlsx))/BASIC 順次ファイル/タブ区切りテキストファイルを送信</li> <li>・ [オブジェクトの作成]に「ファイルおよびメンバーを作成」、または「新しいメンバーを作成」を指定</li> </ul> |
| 障害内容           | <p>データ転送（送信）で、下記メッセージを表示後、[OK] ボタンで処理を継続すると、データ転送に失敗する。</p> <p>「送信転送処理に失敗しました。[データ形式変換制御：(0716)] このフィールドのデータが IBM i フィールド・サイズを超えています。フィールド・サイズを超えるデータは切り捨てて送信します。&lt;MakeDataSendTelegram&gt;(0x40000716)よろしいですか？」</p>  |
| アップデート未実施時の回避策 | [オブジェクトの作成]を「メンバーの置き換えのみ」に変更してデータ転送(送信)を再実行する。  |

|                |   |
|----------------|---|
| No.11          | データ転送（送信）で、存在しない形式記述ファイル(FDF ファイル)を指定して実行しても、「形式記述ファイル（FDF ファイル）が見つかりません。」のエラーメッセージが表示されない現象を修正   |
| 発生条件           | <p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データ転送の送信を実行</li> <li>・ 存在しない形式記述ファイル(FDF ファイル)を指定</li> <li>・ [オブジェクトの作成]設定に「ファイルおよびメンバーを作成」、または「新しいメンバーの作成」を指定</li> <li>・ データ転送パネル起動後に少なくとも1回以上、データ転送の送信が正常終了</li> </ul> |
| 障害内容           | データ転送（送信）で、「形式記述ファイル（FDF ファイル）が見つかりません。」のエラーメッセージが表示されず、「メンバーxxxxはライブラリーyyyyのファイル zzzz に既に存在している。」のエラーメッセージが表示される。  |
| アップデート未実施時の回避策 | 特になし。   |

|       |  |
|-------|--|
| No.12 | 「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正   |
| 変更内容  | <p>ローカルコピー、およびプリンタ設定の「nLPIの印刷方式」の状況依存ヘルプの誤記を修正。</p> <p>「nLPIの印刷方式」－「行数基準」の有効範囲の上限</p> <p>誤：128行</p> <p>正：255行</p>  |
| 参照先   | <p>「エミュレータのプロパティ」アプリケーションの下記の状況依存ヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [セッション設定] タブー [ローカルコピー設定]</li> <li>  [基本設定] タブー [nLPIの印刷方式]</li> <li>・ [プリンタ定義] タブ</li> <li>  「プリンタ定義」を選択－ [設定] ボタン</li> <li>  [基本設定] タブー [nLPIの印刷方式]</li> </ul> |